

聞思

今号の法語
極楽は西にあり
地獄は皆身にある
一休禪師

発行所 光山寺
〒758-0063 大字山田4553
萩市 萩市 萩市 萩市
TEL (0838) 22-1370
http://kousanji.net

法統継承式 来年6月6日に



さる四月十五日、立教開宗法要(春の法要)後、浄土真宗本願寺派大谷光真ご門主様が、来年六月五日をもってご退任されることを表明された。これを承けて、本願寺嗣法の新門さまが、ご門主から法統を継承される「法統継承式」が来年六月六日、本山で執り行われることが決まった。本年七月二日には、宗示及び本山告示が發布された。

これにより宗派総局は、本願寺の内局と法統継承にかかる協議を重ねており、本年六月二十日開催の第六回通常委員会で、宗派と本山本願寺合同の推進体制や特別会計の設定などを定める法規議案を議決した。

また、七月一日、二日に開催された第三〇五回臨時宗会では、法統継承にかかる収支計画などを定める財務議決案が議決された。今後は法規に基づいて実動体制が整えられ、法統継承に向けての諸準備が進められる。日程等の詳細については決まり次第周知したい。

仏教婦人会バザーに関する報告

光山寺仏教婦人会会長、河村一江さんより、去る六月九日(土曜)・三十日(日曜)に開催された光山寺仏教婦人会法座におけるバザーの報告を頂きました。「毎年のごとながら、品物は集まるだろうか、手作り作品はあるだろうかと色々と頭を悩ませてのバザーですが、思いの外、沢山の品物が集まりました。なかでも早くから作り始めたマーマレード橙菓子など、皆さんの協力により沢山の製品もできました。また、今年は手作りパンの販売もあり好評でした。沢山のケーキも焼いて下さり、喫茶の方も賑わいました。本当に多くの皆様のご協力により、無事に終わる事ができましたこと、感謝申し上げます。

皆様、大変にお疲れ様でした。また有り難うございました。バザー収益金は十五万四三円でした。この中から本堂に設置してあります募金箱とあわせて三万円を東日本大震災支援金として、萩市豪雨集中災害救援義援金として十万円を寄付させていただきます。本堂に有り難うございました。」

夏休みキッズサンガで今年も素麺流し

毎月第三土曜日午前九時より開催しています土曜学校。夏休みは、子供を中心とし、保護者や仏教壮年会・仏教婦人会など世代を超えた行事「キッズサンガ」として開催し、お寺に足が向くようになると気運を高めています。今年は八月三日(土曜)に開催され、約五十名という多くの子供や父兄の方々に参加していただく事ができた。平成二十一年より夏休み子供早起き朝食会を拡大し、ラジオ体操・境内清掃・勤行の後、素麺流しを企画。企画に際しては、総代会・仏教壮年会・仏教婦人会などの各役員の皆様の協力をいただいた。特に、竹の切り出しなど、猛暑の中を仏教壮年有志の皆様には誠に苦労さまでした。また、婦人会の皆様には素麺をはじめ、食事の準備などご協力いただき、大変に有り難うございました。尚、萩組では夏休み子供泊合宿が七月二六・二七日に萩幼稚園を会場に開催され、光山寺より十六名の参加があった。



若院、ご本山での安居の副講者を無事に終わる

毎年夏に行われる、本願寺の宗学研鑽の最高の講座である安居(七月十八日から三十一日まで)にて、若院が副講者として法然聖人の『選択集』を講じた。また、講本は『選択本願念仏集講読』として、永田文昌堂より販売となった。安居とは、釈尊在世中より始められたとされ、それまで個々に活動していた僧侶たちが一か所に集まって集団で修行や研鑽することをいう。日本でも、古来より宗派を問わず様々な形で安居が現在に続いており、浄土真宗本願寺派では、夏季の二週間にわたって京都の龍谷大学本館において安居が開講されている。



光山寺行事案内

関連行事には
カレンダーに◎印を！
平成二十五年九月～十二月までの光山寺行事予定一覧です。万障繰り合わせてご参加ください。
★光山寺法要関連
九月二六・二七日(木・金曜)
秋季永代経法要(講師、上原泰教師)
十一月二八・二九・三〇日(木・金・土曜)
報恩講法要 (講師、岡智徳師)

★山口教区・萩組関連
十月 四日(金曜) 山口教区仏教婦人会大会(スターピア下松)
十一月十五日(金曜) 連研(西生寺)
十一月二十五日(火曜) 山口別院にて帰敬式執行
十一月二六～二八日(火・水曜) 山口別院報恩講法要(山口別院)
※二六日の萩組参拝者募集中

★子供会(土曜学校) 関連 午前九時(本堂)
十月十九日(土曜) 十一月十七日(土曜)
十二月二日(土曜) 子供報恩講一月日(曜)

★仏教青年会関連 午後三時(庫裏)
十二月三十一日(火曜) 除夜会

★仏教壮年会関連
九月二九日(日曜) 午後二時 光山寺ソフトボール大会(自泉小)
十一月二九日(金曜) 午後七時 報恩講夜座(本堂)
十二月二日(土曜) 午後六時 光山寺仏教研修会・忘年会

★仏教婦人会関連
九月二四日(火曜) 午前八時半 秋季永代経の清掃・莊嚴
十一月二六日(火曜) 午前八時半 光山寺報恩講の清掃・莊嚴
十月二二日(月曜日) ※本年はこれでおわり
★親鸞聖人讃仰会 午後八時(本堂)

★礼讃の夕べ(旧、正信偈唱和会) 午後八時(本堂)
十月十二日(土曜) ※本年はこれでおわり
★雅楽練習会 午後七時半(庫裡)
十月二十日(日曜)

★仏教讃歌コーラス練習会 毎月第三木曜日(本堂)
十月日(木) 午後八時

※雅楽・コーラスは新規参加者募集中。気軽にお問合せください
西本願寺の時間(KRYラジオ) 毎週日曜午前六時から十分

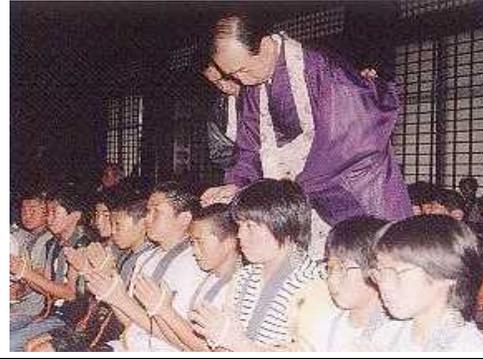
背負佳集・お知らせ

■第十二期連続研修会受講者募集

萩市内(大井、三見などを除く)の浄土真宗寺院二十二ヶ寺が、萩組という組織のもとに、同一人物を対象に、連続的に仏教や浄土真宗のみ教えを体系的に学んでいただく研修会(通称「連研」)、二期二ヶ年(二ヶ月に一回開催)の受講者を新たに募集することとなりました。この連研は、浄土真宗のみ教えをひろめていくために、僧侶はいまでもありませんが、ご門徒の中から運動の推進者が育たなければならぬという事から実施されてきました。また、それは単に知識を得る場ではなく、私が信心の行者にお育ていただく場でもあり、「法座の課題」をふまえて講座・研修が開催されています。現在まで萩組では約四四〇名のご門徒の方々が受講されています。受講申込の詳細は、本堂焼香台横の別紙緑色の募集案内をご覧ください。うえ、ふるって手続きください。

■今年も別院にて帰敬式

山口別院の報恩講に合わせて今年も帰敬式が執り行われます。帰敬式は、阿弥陀さま・宗祖親鸞聖人の御前で浄土真宗の門徒としての自覚をあらたにし、今後力強く生きていくことを誓う生涯ただ一度の大切な儀式で、「おかみそり」ともいいます。式は原則として本山で、ご門主によって執り行われ、三帰依文を唱えて、おかみそりを受け、法名をいただくのですが、本願寺以外でも帰敬式執行が可能となりました。受式者全員、椅子で帰敬式を受式できるので、このご縁に是非受式ください。日時：十一月二十五日(月曜日)午後一時より受付。午後二時執行。冥加金は成人一万円・未成年五千円を当日持参ください。申込み方法は、お寺まで氏名・生年月日・住所を必ず十月十五日までにお知らせください。また、この度の帰敬式では法名の内願(本人がご希望の法名を付ける事)が、残念ながら期日の関係でできません。尚、ご本山での帰敬式は従来どおりに毎日2回行われています。(一月一日・一月十六日の晨朝後、一月八日・十二月二十日終日を除く)

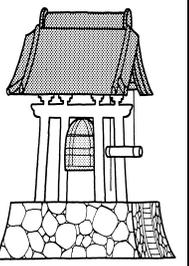


■報恩講夜の座

光山寺の報恩講日程は毎年十一月の二十八・二十九・三十日の三日間の固定で、朝・昼の合計六座の法座がもたれている。日程の関係上、仕事などで聴聞ができてにくい方々のために、ご講師の宿泊される場合に限り二十九日には夜の座が開かれています。今年のご講師の先生は、子供にも分かりやすいお話をしていただけかと思えます。また、この夜の座には雅楽演奏も加わる予定です。尚、夜の座が開かれる関係から三十日は午前中にて満座終了となる。また、夜の座が仏教壮年会の研修をかねているので壮年の方々は万障繰り合わせの上でご参加ください。

■除夜会にて福引き抽選会

光山寺では大晦日の午後十一時四十分より毎年除夜の鐘をついています。この除夜会の後にお正月の最初のお勤めである修正会(元旦)が本堂にて勤修されます。多くのご門徒の皆様と新しい年の最初のご縁にあう法会です。本年は、一人でも多くの方にこの法会に参加して頂きたいの思いから、修正会終了の午前一時より、本堂にて新年お楽しみ福引き抽選会を開催する事となりました。ただし、この福引きの番号札配布は大晦日除夜会の除夜の鐘をついた方、一名に一枚のみのお渡しとなります。(無料)豪華賞品を用意していますが、抽選時不在の方には商品獲得の権利がありませんので、修正会には必ずご参加ください。



■冬の児童作品募集

本願寺では毎年一月九日から十六日までの間、親鸞さまのお徳をたたえるとともに、ご苦勞を偲ばせていただく「御正忌報恩講法要」が勤まります。例年、この法要期間中に「全国児童生徒作品展」を開催いたします。私たち一人ひとりが仏さまのみ教えの中で育てられ、生かされている喜びを、作品に表してみましよう。たくさんのお友達をさそって、みなさんの得意な部門に出品してください。

「作文・詩」

テーマ1「であい」 テーマ2「いのち」 テーマ3「きずな」

親鸞さまのお生涯のお話を聞いたり、また社会のできごとや身近なできごとを体験して感じたことや学んだことなどを書いてみましょう。

・幼児規格無し 小学生 B4縦書 40字詰原稿用紙3枚以内
・中学生 B4縦書 40字詰原稿用紙4枚以内

※原稿用紙の1行目に「題」、2行目に「単位名(団体名)」「および」「学年」、3行目に「氏名(ふりがな)」を必ず明記してください。

「絵画」

課題はありませんので自由に描いてください。(A4・A3・A2・A1・A0 版画も可)。四切(38cm×54cm)以内(全学年共通)。名札を作品下部中央につけてください。(HPよりダウンロード可能)

「書」

幼児 自由に書いてください(一字でも可)。
小学1年生「しん」 小学2年生「みだ」 小学3年生「なも」
小学4年生「ご恩」 小学5年生「安心」 小学6年生「本願」
中学 生「正信念」

※学年・氏名は、自筆で左側に書くこと。ただし、低学年の場合は姓または名前だけでもよい。園児 小学生 半紙(タテ33cm×ヨリ24cm)に限る。書体は楷書。中学生、画仙紙 半切四分の一の大きさ(タテ68cm×ヨリ17.5cm)。書体は楷書もしくは行書。名札を作品下部中央につけてください。(HPよりダウンロード可能)

表彰

- (1) 小・中学生の各部門入賞作品を表彰いたします。
- 「特選」各部門各学年一名 「入選」各学年三名以内
- 「佳作」 各学年若干名
- (2) 幼児の各部門入賞作品を表彰いたします。
- 「はと賞」 各部門若干名
- (3) 応募者全員に参加賞を贈ります。

出品方法 十月二十五日までに光山寺迄お届けください。作品は返却いたしません。※山口別院作品展については別紙案内をご覧ください。

■仏教豆辞典

『仏教用語豆辞典一〇〇』(本願寺出版部より)

■会釈・えしゃく

普通、ちよつと頭をさげて軽くおじぎをするを「会釈をする」といいます。しかし、本当は、もつと深い意味があるのです。仏教の教えは、たいへん広いものなので、その中には、一見矛盾しているように思われる教えがあります。そのときそれらの相違点を掘りさげ、その根本にある、実は矛盾しない真実の意味を明らかにすることを、会釈といひます。そこから、あれこれ思い合わせて、納得できるような解釈を加えることや、いろいろな方面に気を配ること、儀礼にかなった応対などを経て、今のような意味になったと考えられています。

■往生…おうじょう

「こんどの事件には往生したよ」「往生がが悪い」「立ち往生」と、往生という言葉は、どうしようもなく困った時や、物事がゆきつまった時など、あまり良い意味には使われていないようです。しかし、往生とは、現世を去って、仏の浄土に生まれることなのです。極楽浄土に往つて生まれかわるから往生といひます。ですから、往生成仏・往生即涅槃という語句もあるのです。お領解文に「往生一定」とあるのは、極楽に往生するのはまちがいないという意味ですから、本来は、たいへんありがたいことなのです。

■大架装…おおげさ

「あの人の言うことは、大架装だよ」というように、大架装といひば、実際よりもたいへんなように言うさま、誇大とか、おおぎょうを意味する言葉です。架装は、僧が衣の上につけている法衣のことですから、大架装は、文字どおり、大きな架装のことです。架装は、後世、華美的な飾りものとなり、儀式用に着用されるようになりましたが、僧がそのような大きな架装をぎょうぎょうしく掛けていた様子から、規範の大きいこと、おおぎょうなことを意味するようになりしました。また、大きく架装がけに斬りおろすことも、大架装と呼んでいるようです。